

資金運用委員会	資料2
第57回 (R6.3.22)	

令和5年度答申第〇号

答 申 書 (案)

当委員会は、令和5年5月17日付け令和5年度諮問第1号により諮問のあった「厚生年金保険給付組合積立金、退職等年金給付組合積立金及び経過的長期給付組合積立金の安全かつ効率的な運用のあり方」について、下記のとおり答申する。

記

○ 退職等年金給付組合積立金（新3階）に係る基本ポートフォリオの見直しの検討について

「退職等年金給付組合積立金の管理及び運用に係る基本方針」（平成27年10月1日制定）のⅢの3に基づき、今般、令和5年12月に地方公務員共済組合連合会において財政再計算が実施されたことを踏まえ、現行の基本ポートフォリオの見直しの検討を行った。

その結果、国債利回り等に連動する形で給付水準を決めるキャッシュバランス型年金の特性等から、基本ポートフォリオ設定時に想定した運用環境が現実から乖離しているなどとは認められず、基準利率を最低限のリスクで確保するよう策定された国内債券100%の基本ポートフォリオにより運用を行うことについては、現状、特に問題がない。

以上の検討の結果、退職等年金給付組合積立金の基本ポートフォリオの見直しの必要はない。

令和6年3月22日

資金運用委員会
会長 加藤 康之

全国市町村職員共済組合連合会
理事長 横尾 俊彦 様